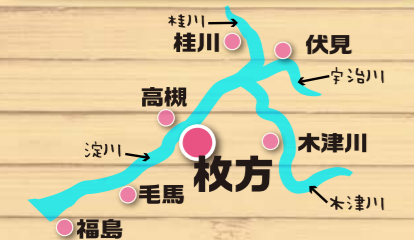


出張所の窓辺から

54



淀川管内に7つある、国土交通省淀川河川事務所の出張所から職員が管内のみどころを紹介します。今回の担当は枚方出張所です。

今回は枚方出張所から、出張所庁舎(枚方市桜町)近辺について、過去の歴史も含めてご紹介します。枚方出張所の最寄り駅である京阪電車枚方公園駅は、明治43年に「枚方駅」として開設されましたが、昭和24年に現在の枚方市駅開設(枚方東口駅から名称変更)と同時期に、枚方駅から枚方公園駅へと名称が変わりました。

枚方公園駅付近には皆さんご存じのひらかたパークだけでなく、かつては「ひらかた温泉」がありました。ひらかた温泉は昭和初期に、枚方公園駅東側の坂を登ってすぐの丘に開業したもので、旅館、浴場、料亭、カフェ、遊技場及び芝居小屋(のちに映画館)まで備えた一大レジャー施設でした。平成3年に約70年間の営業が終了し、跡地は現在マンションや駐車場として利用されています。

枚方出張所庁舎の正面には、広大な淀川河川公園(枚方地区)がひろがっています。枚方地区は、昭和

47年度から事業に着手をした国営淀川河川公園のシンボル拠点として、平成9年に、低水路河道(川の流水部)の付替工事により生まれた高水敷を利用し、水辺公園として開園しました。同年、なみは国体カヌー競技会場、令和4年からは水都くらわんか花火大会の主会場となる等、多くの行事に利用され、市民の貴重な憩いの場となっています。

かつては枚方市の中心地区であった枚方公園駅近辺の、更なる賑わいを願っています。



昭和10年代後半から20年代前半ごろのひらかた温泉の全景の絵。左後方には枚方大橋と淀川が望めます(意賀美神社蔵)。



枚方出張所正面に広がる淀川河川公園(枚方地区)

川と人、人と人をつなぐ

河川レンジャー

RIVER RANGER

NEWS

淀川管内

no. 66
令和6年
3月発行
2024 春号

水難事故をなくそう。



いきものイチオシ!! 第37回

クララ

[KURARA]



木津川の堤防にはクララの群生地があります。クララと聞き海外の人の名前を想像し外来種なのかと思ったのですが「クララするほど辛い」ことからクララと名付けられた日本在来の植物でした。有毒植物ゆえの苦みなのでしょう。クララの根を乾燥させたものが生薬の苦参(くじん)です。

6月初旬にはマメ科の植物らしい白い花が咲き始めます。たつぷりと花をつけてしなる茎が風に揺れる様子は涼やかです。夏には大きなインゲン豆



クララの花 クララの果実

のような果実がたくさんぶら下がって花の季節の様子との違いに驚きました。

クララは地域によっては国の絶滅寸前種に指定されるほど全国的にみると減少傾向にある植物です。またクララを食草とするオオルリジミという蝶もクララの減少が原因で同じように

数が減り、絶滅危惧種に指定されています。

有毒植物を食べても大丈夫なのかと思われるかもしれませんが、体に毒素をとりこむことで鳥などの天敵から身を守る蝶やその

蝶に擬態して身を守る蝶がいます。蝶の幼虫が食べる植物はそれぞれ決まっています。ウマノズクサ(有毒植物)のそばではジャコウアゲハが舞い、カナムグラのそばではキタテハが舞う。ギンギシヤスイバが多い堤防でベニシジミをよく見かけるのもそのためです。堤防ではもうすぐ代わる代わる植物が花を咲かせ、行きかう人を楽しませてくれる季節を迎えます。植物や蝶の観察をしながら歩いてみてはいかがでしょうか。



オオルリジミ



国土交通省のサイト「川の防災情報」では、全国の河川の雨量・水位情報をチェックできます。川遊び中にお天気の変化が気になったときには、ぜひ活用ください。

<https://www.river.go.jp>



河川レンジャーは淀川流域を舞台に行政と流域住民をつなぐ橋渡し役を担っています。詳しくはホームページをご覧ください。

発行責任者: 淀川管内河川レンジャー事務局
〒573-0056 大阪府枚方市桜町3-32 TEL:072-861-6801(平日9時~17時)

淀川管内河川レンジャー <https://www.river-ranger.jp>

次号は7月の発行予定です!

※本誌掲載記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

写真は、京都市伏見区の小学校での総合学習の出前授業、魚とりを始める前に川の安全指導は欠かせません。

水難事故をなくそう。

ライフジャケット着用体験出前講座

宇宙に行くには宇宙服、川に行くにはライフジャケット

川は楽しい場所ですが、危険もたくさん。川に入らなくても、足を滑らせて転落することも…。川に行くときの装備としてライフジャケットを着けることで飛躍的に水辺の活動の安全性は高まります。河川レンジャーでは、着衣で泳ぐことの難しさや正しいライフジャケットの着用方法、おぼれた人の救助方法などを出前授業や様々な活動の機会でお伝えしています。

国土交通省の河川水難事故防止ポータルサイトには、子どもたちが川の安全を学べる動画やゲーム、保護者向けのパンフレットなどが掲載されています。



詳細はこちらから→



川の総合学習(生き物調査)

小学校の出前授業で…



ライフジャケットの着用体験

河川レンジャーの活動…



地域の自然体験活動

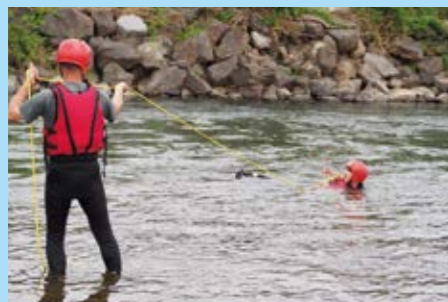


地域団体主催の川の安全講習



ワンドの生き物観察会

河川レンジャーでは、全員が川の指導者RACリーダーの講座を受講しています。



レンジャー活動に備えて、ライフジャケットも待機

出前授業・講座の申し込みは、レンジャーホームページの「依頼したい」から



依頼はこちらから↓

天ヶ瀬ダム再発見!!

ダムを知るとは楽しい

淀川の治水について理解を深めるため、ダムの仕組み・役割について学ぶ目的で昨年12月に、河川レンジャー研修で天ヶ瀬ダム研修会に出かけました。天ヶ瀬ダムの見学と聞いた時、非常に懐かし、感慨深かったです。その理由は、約30年前に、宇治市の太陽が丘折居台に住んでおり、宇治川ラインは散歩道、ジョギングコース、ドライブコースでした。通常、ダムは人里はなれた山の中へ行かないとどどり着きませんが、宇治川にある天ヶ瀬ダムは、市街地からほど近い場所にあります。琵琶湖を源流に、大阪湾にそそぐ淀川本流に架かる唯一のダムで、堤高73m、堤頂長254mの美しい曲線美を持つドーム型アーチ式コンクリートダムで、その形が翼を広げた鳥の姿に似ているので、ダムによって造られたダム湖を“鳳凰湖”と呼ばれています。特に今回の見学で確認したかった箇所は、治水機能の向上を主目的としたトンネル式放流設備、バイパス出口付近でした。下流の白虹橋からはバイ



天ヶ瀬ダム



天ヶ瀬発電所

トンネルの出口2か所がよく観ることができ、その眺めは非常に圧巻でした。天ヶ瀬ダムカードに記されているFWPの意味を初めて知りました。F:Flood Control 洪水調節、W: Water Supply 水供給、P:Power Generation 発電で、発電能力に関しては、ダム下流の天ヶ瀬発電所に加え、ダム湖を下部調整池として利用した上流の喜撰山発電所と合わせて、莫大な発電能力である事を知りました。宇治市に住んでいた頃は、川やダム

について考えもしなかったです。レンジャー活動を始めて、河川やダムに関する探究心や興味が湧いて、同じ建造物や川の様子を見ても、全く違う自分がいる事に気がついた研修会でした。宇治に観光に来られました時に、天ヶ瀬ダムにまで足を運んでいたが、堤頂付近だけでなく、少し高い位置にある展望台、下流の白虹橋からなど、ぜひとも四方からダムを眺めて楽しんでください。



天ヶ瀬ダム ダムカード



伏見出張所管内河川レンジャー 中村恵子

伝える。

みんなに知ってほしい…川の素晴らしさ みんなと考えたい…川の課題

木津川は淀川管内の中でも自然が豊かで、本流付近でも魚とりができる貴重な環境です。木津川川ガキ団は、この川と支流をフィールドに1年を通して生き物や川を学んでほしいと2013年から継続しています。

活動は、魚とりと捕獲した生き物観察から、川で安全に遊ぶための必須アイテム・ライフジャケットの着用指導や安全な

場所での「川流れ」など、遊びながら川の危機管理も学びます。木津川の豊富な砂と水で、川の三作用(浸食・運搬・堆積)の実験や、そこに堤防やダムを建設して、遊びから河川工学の世界に触れています。そして最終回では子どもたちをジュニア河川レンジャーに任命。川の未来を共に考える新たな仲間の誕生です。

木津川川ガキ団は、行動することと同じくらい、伝えることも大切だと思っています。子どもたちが川で体験したこと、生き物に



感動したこと、疑問に思ったり問題に思ったりしたこと、全て「発表」という形にまとめます。発表は「プレゼンボード」と「発表原稿」としてありますが「川や生き物を大切に思う仲間へ伝えたい」という思いがあふれています。



そして、発表を作るということは、自分の中にストックしてきた思いをフィードバックして着火する大切な作業でもあり、この時間をとても大切にしています。

いつか参加者の子どもたちが大人になった時、自分の子どもを連れて川に入ってくれたら、次世代の川の応援団になってくれることを願っています。

令和6年度、「木津川川ガキ団」の団員募集です。川が好き、生き物が好きな人、お待ちしています!

木津川川ガキ団 募集スタート 4月1日から

先着15組 全6回 (保護者の参加が必要です)



木津川管内河川レンジャー アドバイザー 田中実知世

木津川管内河川レンジャー 赤島涼子